

東広島医療センター消化器内科で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

研究課題名	当院における当院におけるゲムシタピン+アルブミン懸濁型パクリタキセル療法の dose modification に関する検討			
実施予定期間	実施許可日後 から 2027 年 3 月 31 日			
対象患者	当院でゲムシタピン+アブラキサン（以下、アルブミン懸濁型パクリタキセル）療法を投与された患者さん。			
対象期間	2020 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日			
研究機関の名称	独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター			
対象診療科	消化器内科			
研究責任者	氏名	生田 智基	所属	薬剤部
使用する資料等	診療録（カルテ）に記載されている診療情報を用います。 試料・情報の管理責任者 東広島医療センター 薬剤部 調剤主任 生田 智基			
研究の概要	ゲムシタピン+アルブミン懸濁型パクリタキセル（GnP）療法は切除不能進行膵癌の 1 次治療ですが、骨髄抑制が主な有害事象です。当院の GnP 療法は現行の Day1,8,15 に投与、4 週/サイクル（3 投 1 休）と Day1,8 に投与、3 週/サイクル（2 投 1 休）のレジメンが存在します。GnP 療法の投与量、投与方法に関する国内外の報告はありますが、臨床では不明な点も多いです。実際に 2020 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院消化器内科で未治療切除不能進行膵癌に GnP 療法 3 投 1 休開始群と 2 投 1 休開始群で比較検討をおこない、有効性・安全性について検討します。			
利用または提供を開始する予定日	実施許可日		2026 年 10 月 5 日	
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
結果の公表	解析結果は論文や学会発表などで公表されます。			
個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。			
知的財産権	東広島医療センター 薬剤部			
研究の資金源	特になし			
利益相反	利益相反なし			
問い合わせ先・相談窓口	東広島医療センター 薬剤部 担当者：調剤主任 生田 智基 住所：〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家 513 電話：082-423-2176（代表）			